

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 二階堂 美 咲
論文審査委員	主 査 畠 山 雄 次 印
	副 査 古 村 南 夫 印
	副 査 日 高 真 純 印
論文題目	Anisomycin, a JNK and p38 activator, suppresses cell-cell junction formation in 2D cultures of K38 mouse keratinocyte cells and reduces claudin-7 expression, with an increase of paracellular permeability in 3D cultures
(論文審査結果の要旨)	
<p>口腔粘膜上皮のケラチノサイトは様々な刺激にさらされており、JNK および p38 はストレス応答 MAPK である。本研究はケラチノサイトにおけるタイト結合形成に JNK および p38 がどのように関与するかについて検討をおこなっている。その結果、JNK および p38 MAPK のそれぞれは Ca^{2+} 添加による細胞間結合形成過程を阻害し、重層上皮細胞層の細胞間透過性を亢進することを二次元培養および三次元培養にて明らかにした。また予備審査では実験に供与した上皮細胞において Ca^{2+} 添加による JNK および p38 の総タンパク量の変化、および p38 のリン酸化持続性についての結果および考察を合わせて解説した。</p> <p>本研究は様々なストレス環境下における口腔粘膜上皮の細胞間接着形成および重層上皮の機能の一部を明らかにした大変有意義な知見である。公開予備審査会、その後の追加審査および追加報告書において、論文提出者は研究の背景、目的と実験方法、得られた結果と考察について明確に解説し、質疑に対する適切な回答をおこなったことから、本論文に関する十分な背景と知識をもち、研究成果への貢献を有すると評価できた。</p> <p>以上より、本論文を博士（歯学）の学位申請論文として適格で価値のあるものと評価し、予備審査を合格と判定した。</p>	